

ビフォー  
アフター

2年生春休み前(3年生0学期)  
学習点検シート

自校の指導ツールを他校の教師と共に検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、3年生4月に自律的な学習をスタートするための春休み前の「学習点検シート」について検討する。

検討会メンバー



東京都立  
青山高校  
鎌田邦広  
かまだ・くにひろ

教職歴27年。同校に赴任して3年目。主幹教諭。進路指導主任。数学科。「目いっぱいやり切った!」そんな最高の笑顔で卒業してもらいたい!



愛知県立  
東海商業高校  
新美廣勝  
にいみ・ひろかつ

教職歴23年。同校に赴任して1年目。3学年担任。生徒会部。商業科。「自分への自信と、母校への誇りを持った、社会に愛される生徒を育てたい」



大分県立  
中津南高校  
遠藤源治  
えんどう・げんじ

教職歴14年。同校に赴任して3年目。2学年担任。進路指導部。理科。「為せば成る」の信条の下、夢に向かって挑戦し続けるタフな生徒を育てたい!

検討

小さな失敗と成功を繰り返しながら  
自律的な学習スタイルを獲得させたい



鎌田 3年生0学期を迎え、2年生が受験生モードに切り替わるた

めの指導の1つとして、「学習点検シート」を運用しています。この時期から学習時間が増える生徒は多いのですが、学習の内容やペースが自分に合っているのかについては、自信がない状態です。この時期は、高校入試や3年生への指導のため、教師も多忙です。掛けられるパワーが限られる中、どんな項目で構成されたシートであればより有効に機能するか、また、記入後の活用方法についてもアドバイスをお願いします。



遠藤 本校では、3か月に1度、学習時間調査を行います。確かに

生徒の学習時間は徐々に増え始めます。しかし、「学習内容に自信がない」という生徒は少なくありません。また、自主的に学習計画を立てた経験が少ないため、苦手科目ばかりに時間を掛けすぎて成績全体が下がってしまい、「勉強しても成果が出ない」と自信を喪失する生徒もいます。「生徒がやる気になった時期だからこそ、手を掛けたい」という思いから、本校では2年生の担任団が全員と二者面談をしています。



新美 専門高校である本校では、2年生の1月、2月は検定試験の

ピーク時期であるため、すべきことは比較的明確です。しかし、3年生4月からの自分を念頭に置き、進路実現に向けた学びを自ら出来ている生徒は少ないかもしれません。実際、生徒と話をすると「頑張ります!」と意欲的なのですが、具体性や計画性に欠け、4月以降を甘く見ている気がします。就職試験でも国語、数学、英語の基礎学力は必要ですから、3年生4月のスタートをスムーズに切らせるためにも、3年生0学期のうちに適度に失敗を経験させて、「しっかりやっていかないと駄目だ」と気を引き締めさせたいですね。

遠藤 3年生0学期は助走期間だか

東京都立青山高校・鎌田邦広先生 3年生0学期「学習点検シート」

ビフォー

3年0学期の学習点検 Before - After - From Today

1年生: 予習復習の習慣化+週末課題  
 2年生12月まで: 予習復習の継続+週末課題+補助教材の有効利用  
 2年生1月~3月: 予習復習の充実+週末課題+補助教材の有効利用+受験問題集スタート (今はココ)  
 3年生4月から: 予習復習の充実+ 補助教材の有効利用+受験問題集本格化+志望校対策 (本巻とは9月)

今すべきことは: X 冒頭の学習が速いのに受験問題集に飛び付く。ではなく、O 10分~15分で出来る「すべきこと」を何かやり始めること  
 ① 予習復習の充実 (例: 英語は授業のあった日に復習で音読3回、音読+音訳(口で訳を言う) 予習で参考書を「引く」など)  
 ② 補助教材の有効利用 (例: 数学の問題集を毎日5問、英単語集を毎日、古文単語集を毎日、週末課題を「やる」だけでなく「マスターする」など)  
 ③ ①②が出来ている人は、受験問題集スタート (例: 英文法問題集を最初から1週前、自分で選んだ長文問題集を1週間に2章、など)

3年0学期の学習点検表-計画表 ※空欄に自分のことを記入、「今日から始めること」を3つくらい書こう。

2年12月まで Before	2年1月から After	今日から始めること	From Today		
		何を	いつ	どこで	どんなふうに
例: 英語の予習はやらないこと	例: 英語は毎日1冊	例: 英単語集	毎日朝夕	電車	電車から、音読+音訳しながら
例: 数学の問題集は1冊だけ読む	例: 数学の問題集は毎日5問	例: 英日音読・音訳	授業のあった日	家	15分で完璧にできたらいい
例: 数学の手習い集は1冊だけ読む	例: 教科書+参考書を毎日5問	例: 週末課題の復習	毎朝起きたとき	教室	廊下に行く前に10分集中!
例: 週末課題は必ず出さず	例: 週末課題毎日	例: 英語長文問題2冊	週末+部活ない(水)	家	前回の分読み直し+新たに1章
		①			
		②			
		③			

学習内容を自己点検する前に、1年生から3年生までのそれぞれの学習スタイルの変遷について解説し、時期によって学び方に違いがあることを自覚させた。

2015年度の2年生に対しては、12月の時点で3年生0学期の大切さを訴え、1月に学習スタイルをチェックさせて、その後の学習へとつなげていった。生徒が記入した内容は担任が確認し、一言コメントを添えて返却。生徒には自宅の机にシートを掲示するように指導していた。

狙いと機能

与えられる学習から自律した学習へ移行させる

3年生0学期は、3年次の選択教科・科目が決まり、進路意識も高まっているため、学習スタイルの改善や学習計画の見直しなどの指導が行いやすいタイミングである。しかし、3年生への受験指導や高校入試の対応などに教師が追われ、2年生の指導に十分には手が回っていない学校が少なくない。4月以降に自律的な学習をスタートできるよう、鎌田先生は3年生0学期と春休みの自学自習の精度を上げ、学習状況を生徒自らがチェックできるような取り組みを行っている。

課題と解決策

- 3 担当出来るだけ少ないものにした。
- 2 教師が極めて多忙な時期であるため、生徒が記入後のシートの活用方法については、教師の負担が出来るだけ少ないものにした。
- 1 与えられる学習から自律的な学習への転換を意識させることが重要。  
 試行錯誤する体験は重要だが、ささやかであっても成功を味わわせ、自信を持たせたい。  
 教師が極めて多忙な時期であるため、生徒が記入後のシートの活用方法については、教師の負担が出来るだけ少ないものにした。

「**失敗だけでなく成功体験も必要**です。小さくても成功だと思える体験があつてこそ、自ら学んでいく自信が付くはず」です。

**新美** 資格試験の対策の多くは型にはまったものですから、4月以降を考えると、自分で学習計画を練り上げることを経験させたいですね。

**鎌田** 3年生0学期は、予習や復習を教師に言われる通りにこなしてきた生徒が、いざ「自分で受験勉強をしてみよう」と決意しながらも、方法が分からずに戸惑っている時期と言えます。与えられる学習から脱却しようともがいている生徒を支援できるように、小さくてもよいので、成果・成功を実感できる学習点検シートへと改善したいと思います。

学校プロフィール

- 東京都立青山高校**
- ◎ 全日制/普通科/共学/1学年約280人
  - ◎ 2015年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東京大、東京工業大、一橋大、京大などに108人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ612人が合格。
- 愛知県立東海商業高校**
- ◎ 全日制/総合ビジネス科・情報科(1年次は両科共通のカリキュラム。2年次より分かれる)/共学/1学年約320人
  - ◎ 2015年度進路実績(現役のみ)/4年制大進学30人、短大進学11人、専門学校進学65人、就職169人。
- 大分県立中津南高校**
- ◎ 全日制/普通科/共学/1学年約200人
  - ◎ 2015年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、大阪大、九州大、大分大などに138人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大などに延べ249人が合格。

検討会で明らかになった課題を踏まえ「学習点検シート」を改良! 次ページで紹介します。

# アフター

3年0学期の学習点検 Before-After-From Today

2年[ ] 組[ ] 番 氏名[ ]

1年生: 予習復習の習慣化 + 週末課題  
 2年生12月まで: 予習復習の継続 + 週末課題 + 補助教材の有効利用  
 2年生1月~3月: 予習復習の充実 + 週末課題 + 補助教材の有効利用 + 受験問題集スタート ← 今はココ!!  
 3年生4月から: 予習復習の充実 + 補助教材の有効利用 + 受験問題集本格化 + 志望校対策(本格化は9月)

今すべきことは、× 普段の学習が浅いのに受験問題集に飛び付くのではなく、○ 10分~15分で出来る「すべきこと」を何かやり始めること

① 予習復習の充実 (例: 英語は授業のあった日に復習で音読3回、音読+音訳(口で訳を言う)、予習で参考書を「引く」など)  
 ② 補助教材の有効利用 (例: 数学の問題集を毎日5問、英単語集を毎日、古文単語集を毎日、週末課題を「やる」だけでなく「マスターする」など)  
 ③ ①②が出来ている人は、受験問題集スタート (例: 英文法問題集を最初から1回転、自分で選んだ長文問題集を1週間に2章など)

	Check				Plan	Do	Check			Action			
	2年12月まで		Before		2年1月から	After			今日から始めること				
	予習	復習	週末課題	補助教材	自学	自学で行った取り組み	自分の手取り	自分なりの改善点	グループワークを通して得た改善点	何を	いつ	どこで	どんなふうに
英語													
数学													
現代文													
社( )													
社( )													
追加													

これまでの学習の中の「自学」の項目については入念に振り返りをさせ、「自分なりの改善点」までを生徒自身に言語化させる。また、HRを活用してグループワークを行えば、クラスで意識を高め合うことが出来る。書いた内容をペアやグループで共有し、学習方策に関する視野を広げさせる。

3年生0学期までの学習の振り返りの項目は、生徒の記入の負担が出来るだけ少なくなるように、また、教師が課題を一目で把握できるように、教科別・観点別に○△×の3段階で評価させるようにした。

記入例はシートの裏面または別紙に掲載することで、自宅で点検シートを記入させることも可能だ。

記入例

	Check				Plan	Do	Check			Action			
	2年12月まで		Before		2年1月から	After			今日から始めること				
	予習	復習	週末課題	補助教材	自学	自学で行った取り組み	自分の手取り	自分なりの改善点	グループワークを通して得た改善点	何を	いつ	どこで	どんなふうに
英語	○	○	○	△	△	英文法問題集の確認 1日1ページ	読んだだけになってしまった	精度を上げるために、重要 少し減らす(それでも7月ま では通して行える)	仲間同士でノルマを決め (課題ごとに確認テストを 行う)	英文法問題集の 確認	朝7時	教室	「読みながら 指つづりしながら ノートに復習
数学	×	△	△	×	×	数学の問題集の勉強 1日2題	取れている知識 の多寡にがっかり	教科書を丁寧に確認する ことを意識	人に説明できるまで、 やらんと確認する	数学の問題集を1日 2題 その単元の教科書を 確認	昼休みと 帰宅後すぐ	教室と 家	公式は証明でも ように、知識は説明 できるように

現状を  
○ △ × で  
Check!

ここまでは  
○△×までに  
各日で記入

1月1日の  
時点で  
グループ  
ワークを行い  
友人と方法を  
共有する

グループワークでつかんだ  
改善点を基に内容、方法を  
検討して、新たな戦略を立案。  
自宅学習を利用し計画を立てる。  
その後、朝7時に実行

改訂後の狙いと機能

**自学自習を丁寧に振り返り  
グループワークで視野を広げる**

与えられる学習から自律的な学習への移行を促すためにも、自学自習の状況を丁寧に振り返ることが出来るようにシートの構成を改善した。その分、教師がある程度ルールを敷いた学習である予習・復習や週末課題の取り組み状況は○△×などで簡潔に答えられるように設定。また、教科の学習バランスが悪い生徒を見逃さないために、5教科7科目全てについて点検するようにした。

教師がたくさん時間を割くのが難しいこの時期、クラスという集団の力を生かして、グループやペアで学習スタイルをチェックしたり、学習計画をアドバイスし合ったりする活動を積極的に取り入れた。

検討会に出席した先生方からは、「アクティブ・ラーニングに生かせる活動のヒントが見つかる可能性がある」「受験をチームで乗り切る雰囲気づくりにつながる」と評価する声が上がった。

## 活用

成果までを自己評価させた上で  
クラスで自学の意識を高め合う

**遠藤** これまでの学習の振り返りには、予習・復習、週末課題などの観点別に○△×で自己評価させれば、担任が一目で確認できます。



**新美** あらかじめ教科・科目の枠を設けることで、特定の教科・科目に偏ることなく学習することが大切だと伝えられますね。



**鎌田** 従来シートでは、学習内容を書くばかりで、その結果がどうだったのかを自己評価することがありませんでした。特に大切な自学のところは、何をしたらのか、そして手応えはどうだったのかを書かせることに意味があると思います。自学を重んじるのであれば、自学に関する振り返りを丁寧に言葉にさせることが大切ですよ。

**新美** 教師のパワーが限られている時期なので、生徒主体の活動を通して、生徒が自分で今後の学習の方

向性を見いだせるような仕掛けがあるようにしよう。

**遠藤** この時期、「理系だから」と文系教科を勉強しないなど、教科バランスの悪い生徒は割といますから、生徒同士で「こんな学習プランがよい」と検証できるとよいですね。グループワークを行う場合は、部活動に参加しているなど、生活状況が似ている生徒をグループにする参考にしやすいでしょう。その一方で、グループを超えていろいろな人に話を聞きに行き、くことも勧めたいですね。

**鎌田** 担任と1対1で話すよりも、クラスの多様な仲間と話す方が気付きが多いかもしれません。

**新美** 成績の良いクラスメートの勉強法をそのまま真似するだけで終わらせないためには、グループワークを入れるタイミングが重要になりそうです。他者の意見に安易に追



## 活用の流れ

1 自学自習を中心にこれまでの学習を振り返り、今後の学習計画を立てる

2 ペアやグループになって内容を共有する。出来るだけ多くの意見に耳を傾け、参考に出来る学習方法を見つけるよう促す

3 自らの振り返りやクラスでのワークを通じて気付いた改善点を記入させる

4 学習目標を実現できるものとするために、ペアやグループで、「応援する」という意味で相互に署名。完成版を自宅の机に掲示する

従しないように、しっかりと自分で考えさせてから、他者の意見を聞くようにさせたいですね。

**遠藤** 1年間共に過ごし、人間関係が豊かになった時期だからこそ、クラスの力を生かした活動を取り入れたいですね。友人と話し合うことで、自分の振り返りの内容や今後の学習計画も、より責任を持つて考えるようになると思います。

**新美** クラスメートの考えに触れて、どの人の意見に最も共感したか、自分にはない視点だと刺激を受けたか、最後に発表させてもよいですね。

**鎌田** この時期に、受験まで一緒に頑張るパートナーを見つけ、お互いに励まし合える関係をつくらせるのも意義深いですね。クラスの力をどのように活用するか、学年団で活動のアイデアを交換すれば、若い先生の勉強にもなるでしょう。また、教科指導におけるアクティブ・ラーニングのヒントも得られるかもしれません。教師が手を掛けすぎないことで、生徒にとつて、教師から自立しながら仲間と支え合う「団体戦」のスタートになればよいですね。学校に持ち帰って更に検討してみます。